

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後 平成 21 年 3 月 26 日 作成
 20年度決算把握後 平成 21 年 6 月 30 日 作成

事務事業名	後期高齢者健診事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連
総合計画 体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	健康福祉部	課長名 後藤博康
	施策	15	健康づくりの推進	所属課	高齢者支援課	担当者名 松岡将司
	基本事業	46	保険医療制度の健全な運営	所属班	高齢者保険班	(内線) 2116
				法令根拠	高齢者の医療の確保に関する法律	

予算科目	会計	1	款	3	項	1	目	13	事業連番	11250	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	2
													コスト削減優先度評価結果	11

事業期間 単年度のみ 単年度繰返(開始年度 20 年度) 期間限定複数年度 (~ 年度)

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】
 本事業は医療保険制度の改正により、平成20年度より老人保健制度に代わり後期高齢者医療制度が開始されることによる新たな事業である
 ・原則75歳以上を対象とした後期高齢者の健診事業の実施・鍼灸費の補助(1人当たり年間30枚交付、1枚あたり1,000円を補助)

【業務の流れ】
 健診期間である菊池養生園と委託契約を行い、健診申込者に問診表を送付する。健診費用の請求がまとめて(年1回)国保連合会よりあるので、その支払いを行う。

【主な予算費目】・健診関係事務費、委託料等13,214千円、鍼灸補助費1,320千円

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		
① 手段(主な活動)	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN)	
20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO)	健診希望者708名に対して、5月初旬に問診表を送付し、養生園で健診を6月より開始する予定である。	
菊池養生園と委託契約の締結		
健診受信者数770人		
3,870円×724人=2,801,880円 7,400円×1人=7,400円 6,200円×45人=279,000円		
システム使用料770人×262.47円=202,101円 合計3,290,381円		
鍼灸費補助申請者数:56人 補助金額:544,000円		
⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	ア:申し込み書発送数	件
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)	
・後期高齢者医療被保険者	イ:被保険者数	人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)	
・健診の実施により疾病の重病化を防止する。	ア:健診の受診者数	人
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか)	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位)	
・医療制度が適切に運営される。	ア:一般会計からの繰入額	円
	イ:保険給付費に占める保険料比率	%

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度	
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円							(期間限定複数年度のみ記載) 総トータルコスト	
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円			11,894	3,884	8,982	4,000		4,200
		繰入金	千円								
	(A)事業費計	一般財源	千円			1,320	544	840	600		650
		うち指定経費	千円		0	13,214	4,428	9,822	4,600		4,850
		うち時間外、特殊勤務手当	千円								
		人件費	人			2	2	2	2		2
		延べ業務時間	時間			110	110	110	110		110
(B)人件費計	千円		0	438	438	438	438	438	0		
トータルコスト(A)+(B)	千円		0	0	13,652	4,866	10,260	5,038	5,288	0	

活動指標	件			800	800	750	750	750	総 計 画 22 年 度
対象指標	人			5000	5323	5200	5300	5400	
成果指標	人				770	750	750	750	
上位成果指標	円 %	686529 (43.5) 32.5	685758 (39.4) 28.7	590200 (45.0) 35.0	669405 33.8	610000 (45.0) 35.0	630000 (45.0) 35.0	640000 (45.0) 35.0	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
 ・健康保険法の一部改正に伴い、平成20年度から原則75歳以上を対象とした後期高齢者医療制度が開始される。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
 ・後期高齢者医療制度においては、健診事業は医療費適正化を図るために必要である。
 ・後期高齢者への人間ドック補助を廃止したことから、健康推進班と連携し基本健診やがん検診等の受診を呼びかける。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
 ・後期高齢者医療制度においては、健診事業は医療費適正化を図るために必要である。
 ・国保の被保険者のみ人間ドックの補助があるので、後期高齢者の人間ドック補助を求める要望が市民から多数ある。

事務事業名	後期高齢者健診事業	所属部	健康福祉部	所属課	高齢者支援課
-------	-----------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ 意図の健診の実施により疾病の重病化を防止するので、結果の医療制度が適切に運営されるに結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ 国が定めた社会保険制度で行う健診であるため必要である。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 対象・意図とも適切である。
有効性 評価	④成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 健診の重要性を周知することが必要である。
	⑤廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 後期高齢者の定期的な健診機会がなくなってしまう。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 健診の対象者が75歳以上と限定されているため <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 生活機能評価健診等で重複する分は差し引いて請求してもらっているため。また、問診表の郵送も他の健診申込と同封して世帯主宛に送付することで、軽減を図っている。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 問診表の封入作業は養生園に委託している。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 全ての75歳以上の高齢者を対象にしているため、公平である。また、健診費用は全て広域連合が負担している。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性については、…。 ②有効性については、…。 ③効率性については、…。 ④公平性については、…。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)…複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持																						
	低下																						

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	2	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	7	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)